

仙台市太白山自然観察の森 情報誌2026年1月号

森のおくりもの 1

NO.412 The Gift from Woods



新年あけましておめでとうございます。2025年の「今年の漢字」は「熊」
ブナ等の大凶作、アーバンベアの出現で出没情報の急増によりクマへの警戒
態勢が強化される中、当観察の森での出没情報はないものの、利用者数が激
減しました。クマ出没をきっかけに社会全体が自然環境を考える世の中です。
身近な自然観察の森を本年もよろしくお願いいたします。【館長：佐藤由美】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『人間万事塞翁が馬（にんげんばんじさいおうがうま）』

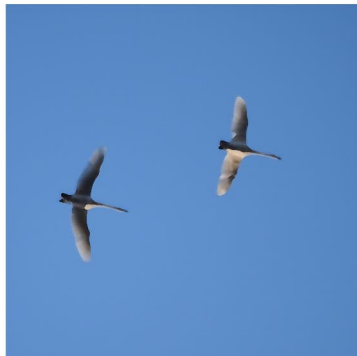
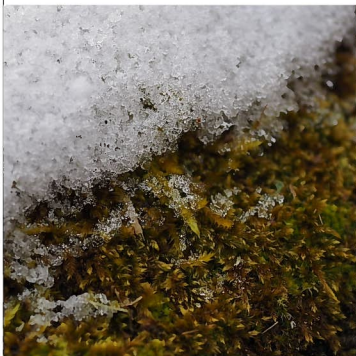
今シーズンの冬の気温や降水量は、ほぼ平年並みという予想となっています。平年並みといっても、最近は暖冬傾向で積雪量も少なかったもので、普通の厳しい冬になるということです。実際、12月14日に仙台で7cmの積雪となり、今後の大雪が心配になりました。しかし、21日には宮城県内で観測史上最も遅い20℃以上になり、12月として記録的な暖かさでした。そうかと思えば、翌日は一転して寒くなり、仙台で前日との差が13℃以上も低く、激しい気温差でした。このように暖かい日もあれば寒い日もあり、平均すると平年並みになるというのが、今シーズンの特徴のようです。

これも温暖化による気候変動なのでしょう。人間は天気予報でおおよそ知ることができますが、自然界の生き物はどうなっているのかわからず、戸惑ってしまうのではないかと思います。この気候によってどんな影響が出るのか、春が早いのか遅いのかなど、予測が付きません。

2026年の十二支は午年ということで、馬に因んだ言葉の「人間万事塞翁が馬」を選びました。「一見不幸に思えるできごとが後に幸運につながることもあるので、人生における幸不幸は予測できない」という意味です。中国の古典『淮南子』に記載された物語に基づいている故事成語で「人の世の中の幸不幸は変わりゆくものだから、何が幸福で何が不幸かはわからないので、悪いことが起きても悲観せず、いいことが起きても安易に喜んで浮かれ過ぎないこと」という教訓となっています。

天気に暖かい日があれば寒い日もあるように、人生にもいいことがあれば悪いこともあります。一見、悪い出来事だとしても、後からいいことに繋がるかもしれないと気楽に考え、前向きでも無理せず生きていこうと思います。

【レンジャー：新田隆一】



野鳥のレストラン開催中です

バードテーブルに集まって来た小鳥たち

12月にスタートした「野鳥のレストラン」に冬の賑わいが訪れています！
小鳥が少ない中でも、お馴染みのヤマガラやシジュウカラのほか、スズメや
アオジなども集まってきました。様々な野鳥たちが寒い季節の憩いの場と
して利用してくれます。次はどんなお客さんが来てくれるか、楽しみはつきま
せん。



今回新しく作ったバードテーブル。



スズメたちもたくさん集まってきました！



早速ヤマガラがヒマワリの種を食べに来た。



地面にまいたエサを食べにシロハラもやってきました！

【レンジャー：齋 正宏】

森の「あれこれ」



「ミヤマホオジロ、出た」



先月号のこのページで“アオジやカシラダカ以外にチッと鳴く鳥がいたら…”と書きましたが、出ました！。

12月の下旬、チツという声、ん？カシラダカ？でもどうも違和感があって、しばらく待っていたところ運よく現れました。ミヤマホオジロの雄です。

スズメより少し大きいくらいで黒のぼさぼさ頭、ホオジロというよりはカシラダカの印象。個人的にはミヤマカシラダカと呼びたいくらいです（笑）。顔はアイマスクのように目先から頬が黒く、そして頭部と喉の黄色が良く目立ちます。最初に視認した時、朝日で輝く鮮やかな黄色の姿は忘れられません。すぐ飛ばれてしまいましたが、しばらく待って梢にいる姿を確認しました（左の写真）。

先に“チツという声に違和感が”と書きましたが、私もそれほど聞き分けられません。なので双眼鏡を片手に耳をすまし目を凝らしてじっと待つしかなく、でも結局わからない、で終わることが多いです。だからこそ出逢えた時はこの上なく嬉しいものです。

ミヤマホオジロは主に大陸から日本にやって来て越冬するのでこれから出逢うチャンスはあると思います。

【レンジャー：木田秀幸】

森は生きている



① 集団で越冬するハエの仲間で、ヤマギシモリノキモグリバエといいます。
② 雪の中、写真中央にいるのは・・・③
拡大してみるとキタキチョウという蝶
です、成虫のまま冬越しします。④ ク
スサンという蛾の卵がありました。⑤
樹上にいるのはモズという野鳥のメス
ですが、丸っこい頭でかわいいのですが、
ワシタカのような鋭い鉤状の嘴をもっ
ており、肉食です。



観察の森にも新しい年がやってきました、昨年は猛暑が続き国内の最高気温 41.8 度更新や、大規模な山林火災、またメガソーラーによる問題や熊による被害など、自然に関わる様々な出来事がありました。

今年は何事もなく自然と人間がバランスよく共生し、平和な年になるのを願います。

【レンジャー：菅井 潤】



イベント & お知らせ

◆「野鳥のレストラン」実施中！

・ 12月2日(火)～3月31日(火) 9:00～16:30

【内 容】冬季限定で野鳥のための餌台を設置しています

開館時間中、研修室の窓から餌を食べに来る様子をそっと見ることができます

◆「自然感さつ専科「こけウォッチング」

・ 2月28日(土) 10:00～12:00

【内 容】こけを観察して小さな造形の美しさに気づき、自然の魅力を感じます

【対 象】小学3年生以上 (中学生以下は保護者も参加)

【持ち物】飲み物、帽子、かっぱ、防寒具、歩きやすい服装と靴で

【申込み】Eメールにて2月17日(火)必着で(抽選)

◆「ガイドウォーク 冬の森の楽しみ」

・ 1月の毎週日曜日 10:00～11:30

【内 容】レンジャーの案内と解説で冬の森を観察しながら歩きます

【対 象】どなたでも (中学生以下は保護者も参加)

【持ち物】飲み物、帽子、かっぱ、防寒具、歩きやすい服装と靴で

【申込み】事前申し込み不要 開始時間までにセンター前へ集合

※申込み専用メールアドレス taihaku@sendai-park.or.jp 詳細はこのQRコードを読み取り



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

開催日: 11日, 18日, 25日

開催時間: 10:00～11:30

※時間までにセンター前へお集まりください

申し込み不要。飲み物、かっぱ、歩きやすい服装と靴で。

1月の休館日

5日、13日、19日

26日 毎週月曜日

※月曜日が祝祭日の場合、
翌日以降の平日が休館



宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」)
いずれも 公営アパート前 下車→徒歩15分



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

観察の森へのアクセス



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで！

「仙台市公園緑地協会」URL: <https://sendai-green-association-jp/green/taihakusan/>

2026年 1月号

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133